



ダイオウグソクムシのつくり方

★★★★★

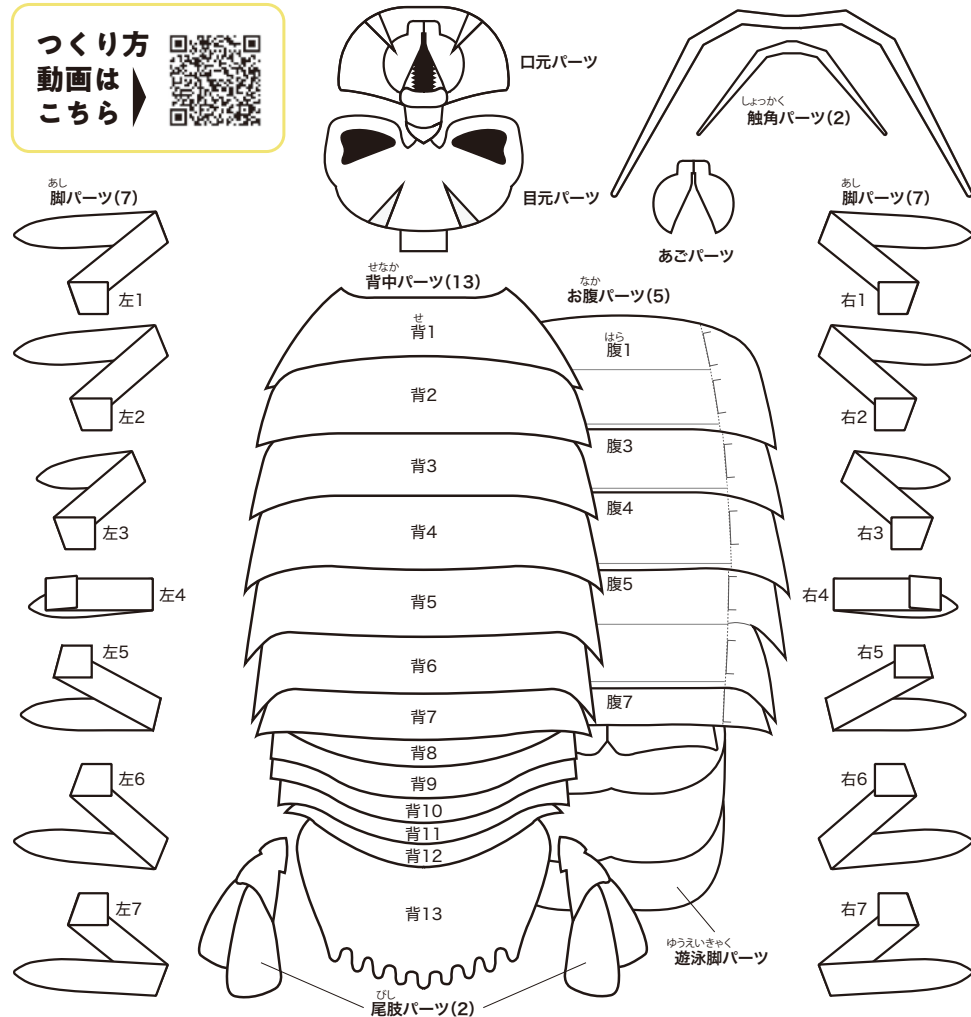
∞分

じゅんび

準備リスト

- | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 牛乳パック(6本) | <input type="checkbox"/> はさみ | <input type="checkbox"/> のり |
| <input type="checkbox"/> ボンド | <input type="checkbox"/> セロハンテープ | <input type="checkbox"/> ホッチキス |

つくり方

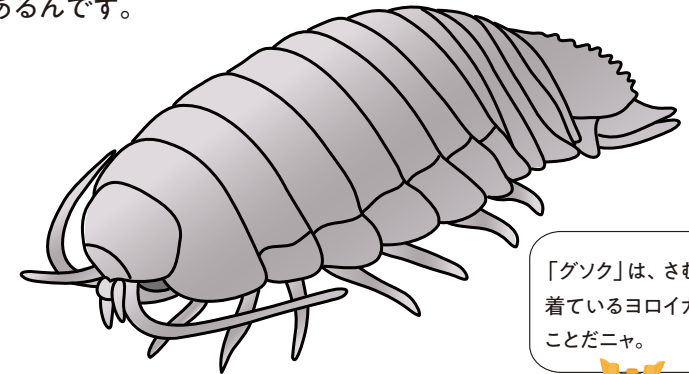
つくり方
動画は
こちら▶

ダイオウグソクムシのひみつ

ダイオウグソクムシってどんな生き物？

ふだんは水深170mから2,000m以下の「深海」に住んでいるダイオウグソクムシ。海に住んでいますが、生き物の分類上はダンゴムシの仲間※です(たしかに見た目がそっくり!)。でもサイズは大ちがい。ダンゴムシの何倍も大きくて、最大で50cm近くにもなります。

泳ぎはそれほど得意ではなく、弱って海底までしずんできたイカや魚など、見つけたものを何でも食べるのが特長。そのため「海底のそうじ屋」という、よび名もあるんです。



「グソク」は、さむらいが
着ているヨロイカブトの
ことだニャ。



※どちらも「甲殻類」といって、エビやカニの親せき。

「ダイオウ」だけど、実は少食？

「体が大きいから、たくさんエサを食べる」と思われがち。でも、ある水族館のダイオウグソクムシは、5年間何も食べずに生きていたという記録があるんです。エサの少ない深海で生きのびるために体のしくみが変わったのでは?と言われていますが、まだくわしいことはわかっていない、フシギな生き物です。

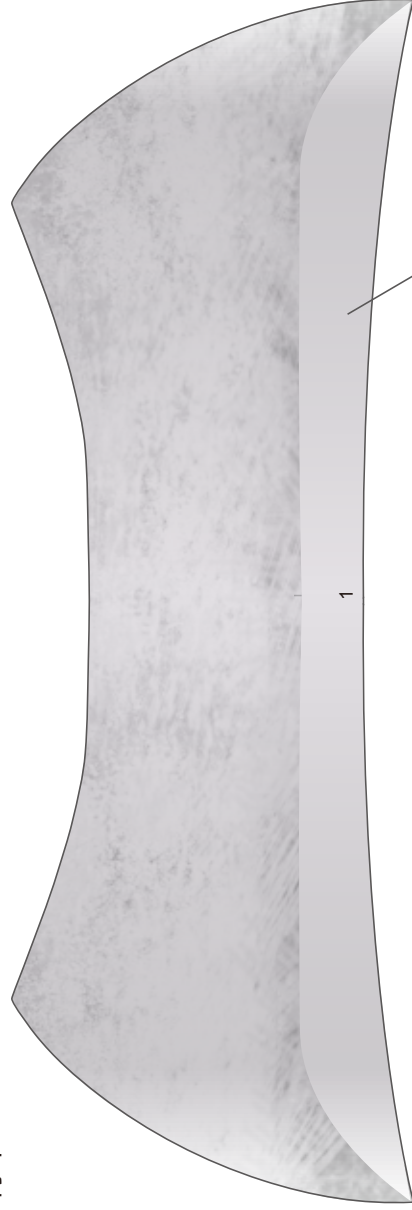
参照 | 『超ふしぎなダイオウグソクムシとびっくりエビたち』, ハイディ・ムーア, 鈴木出版, 2014

参照 | 『大好き! ダイオウグソクムシ』, 宝島社, 2014

参照 | 『「ダイオウグソクムシ」は、絶食してどのくらい生きられる?』, いぎふおめ〜しよん (https://ikimall.kimonopal.jp/blog/post-477/)

【型紙1】背中パーツ

せなか



センターライン

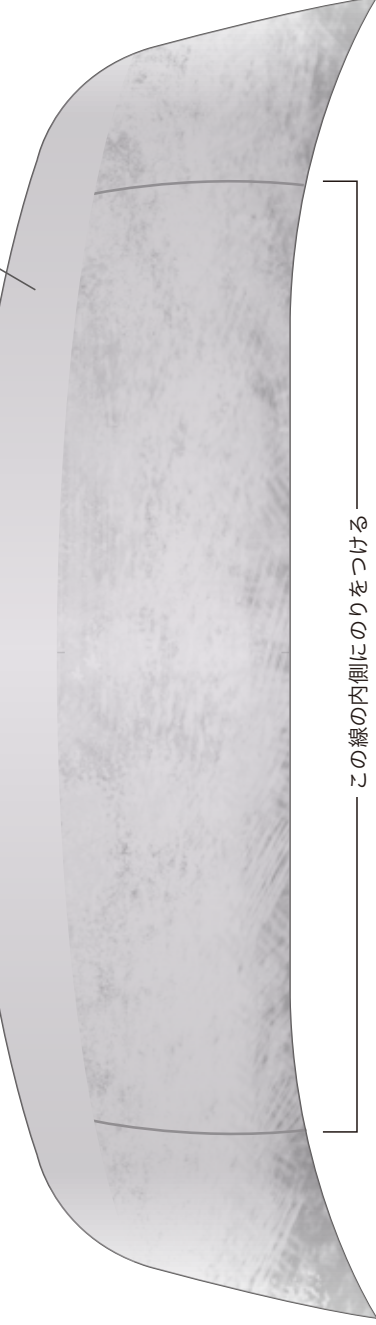
2



この線の内側にのりをつける

重なりガイド

3



この線の内側にのりをつける

重なりガイド

4



山折り / Mountain fold

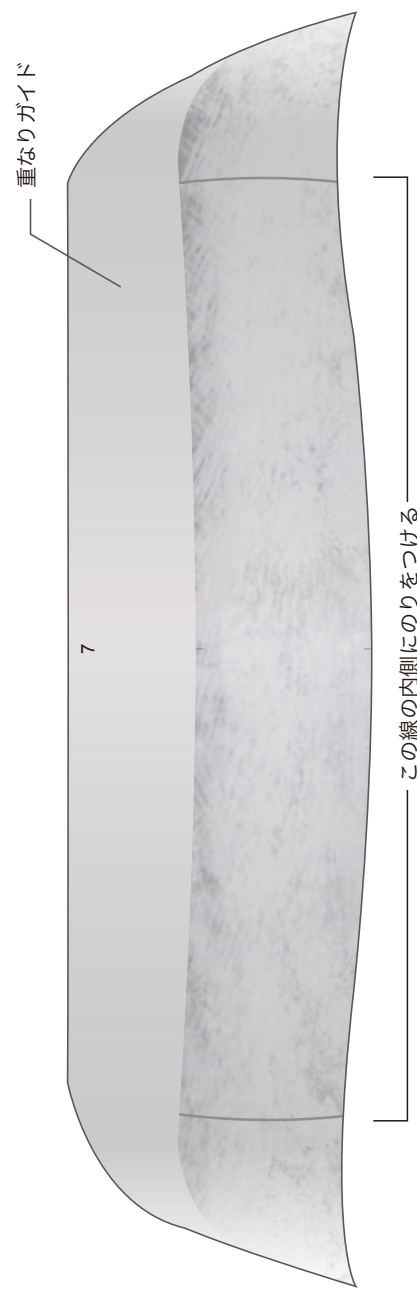
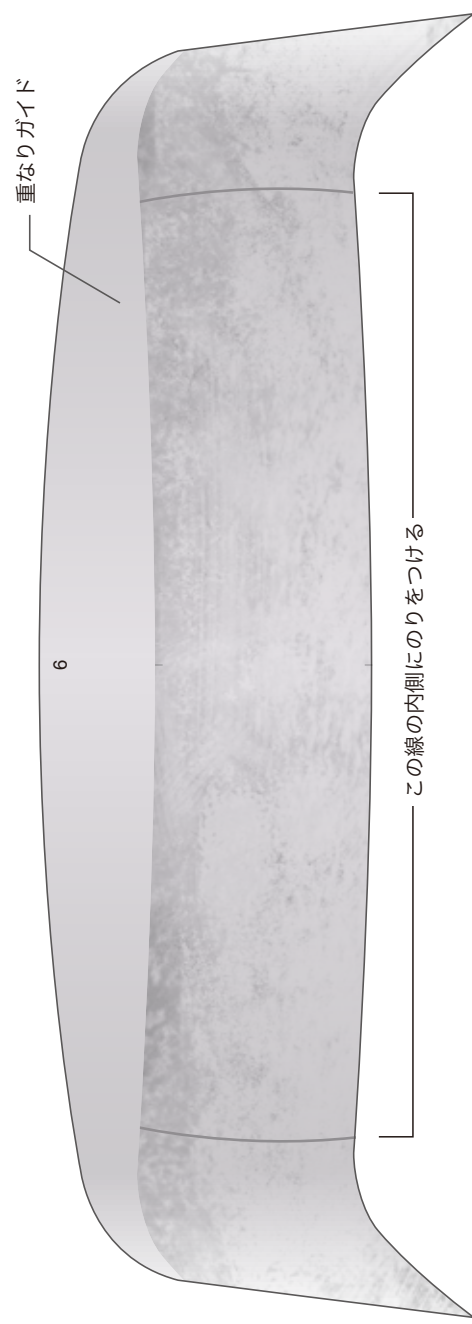
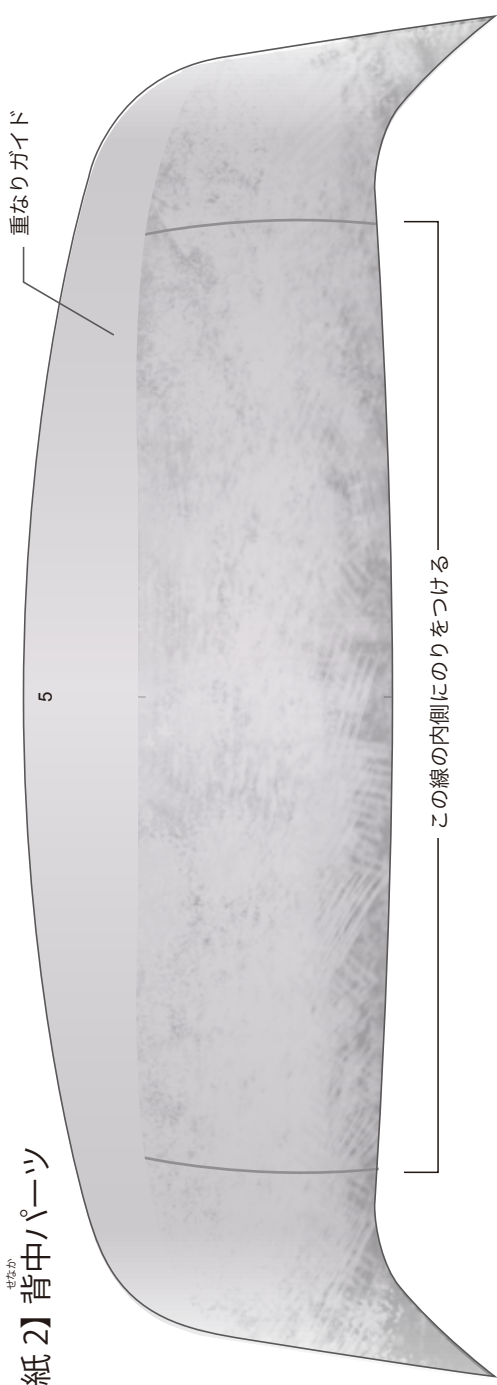
切る / Cut

谷折り / Valley fold

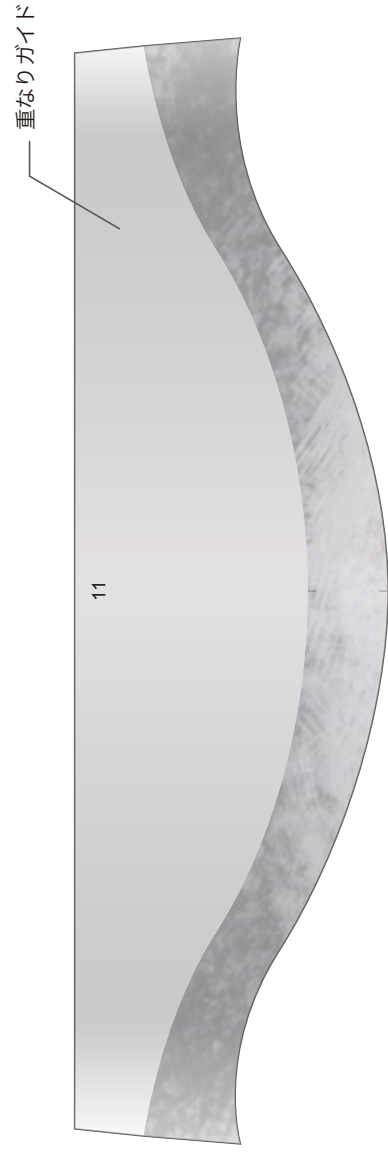
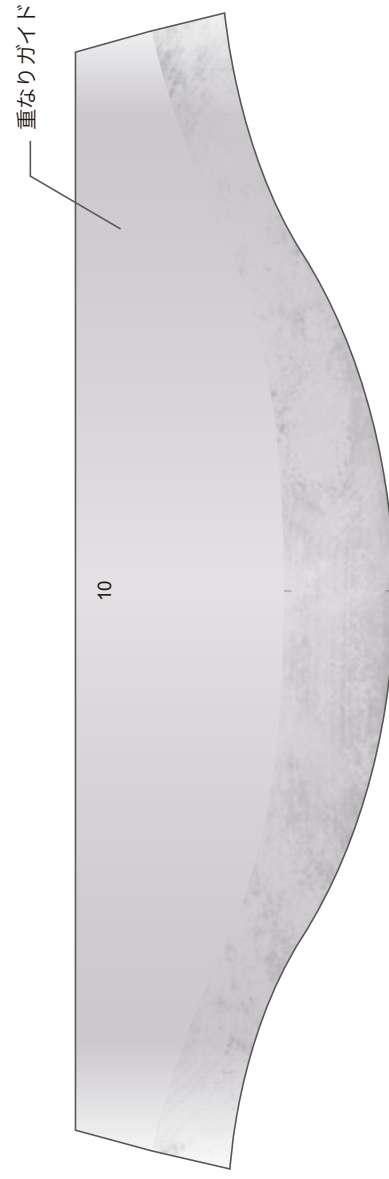
のりしろ / Paste



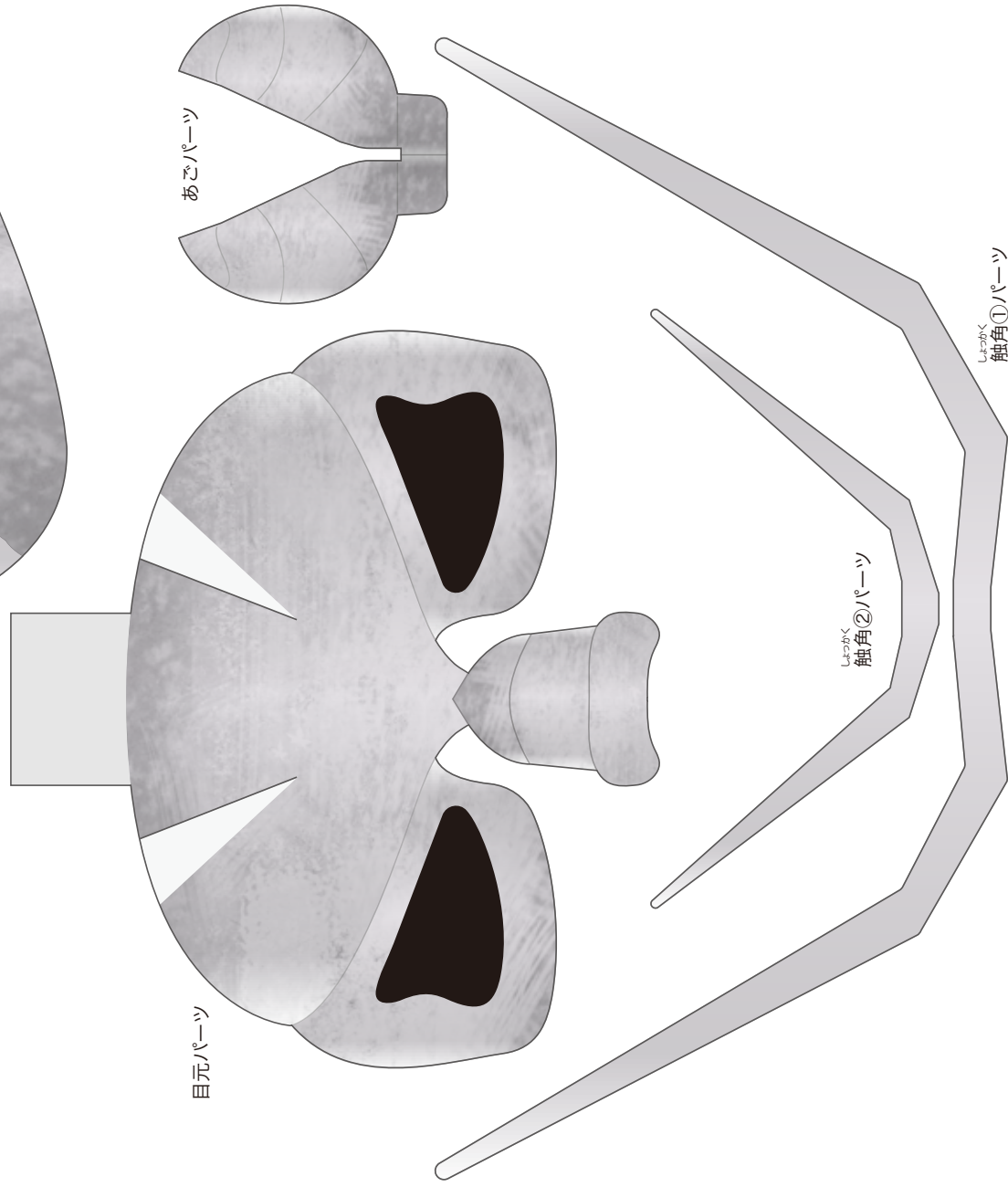
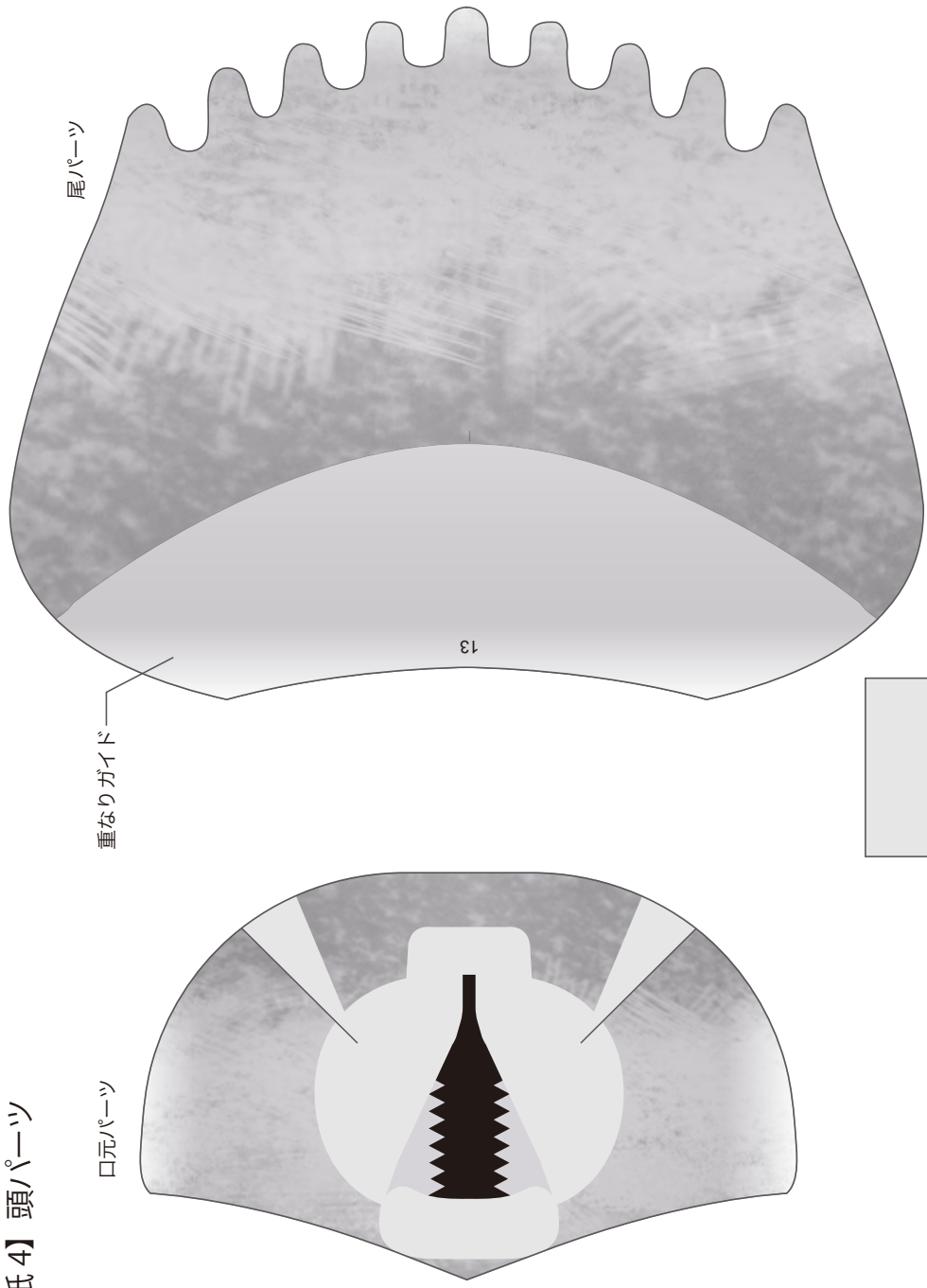
【型紙2】背^{せなか}中パーツ



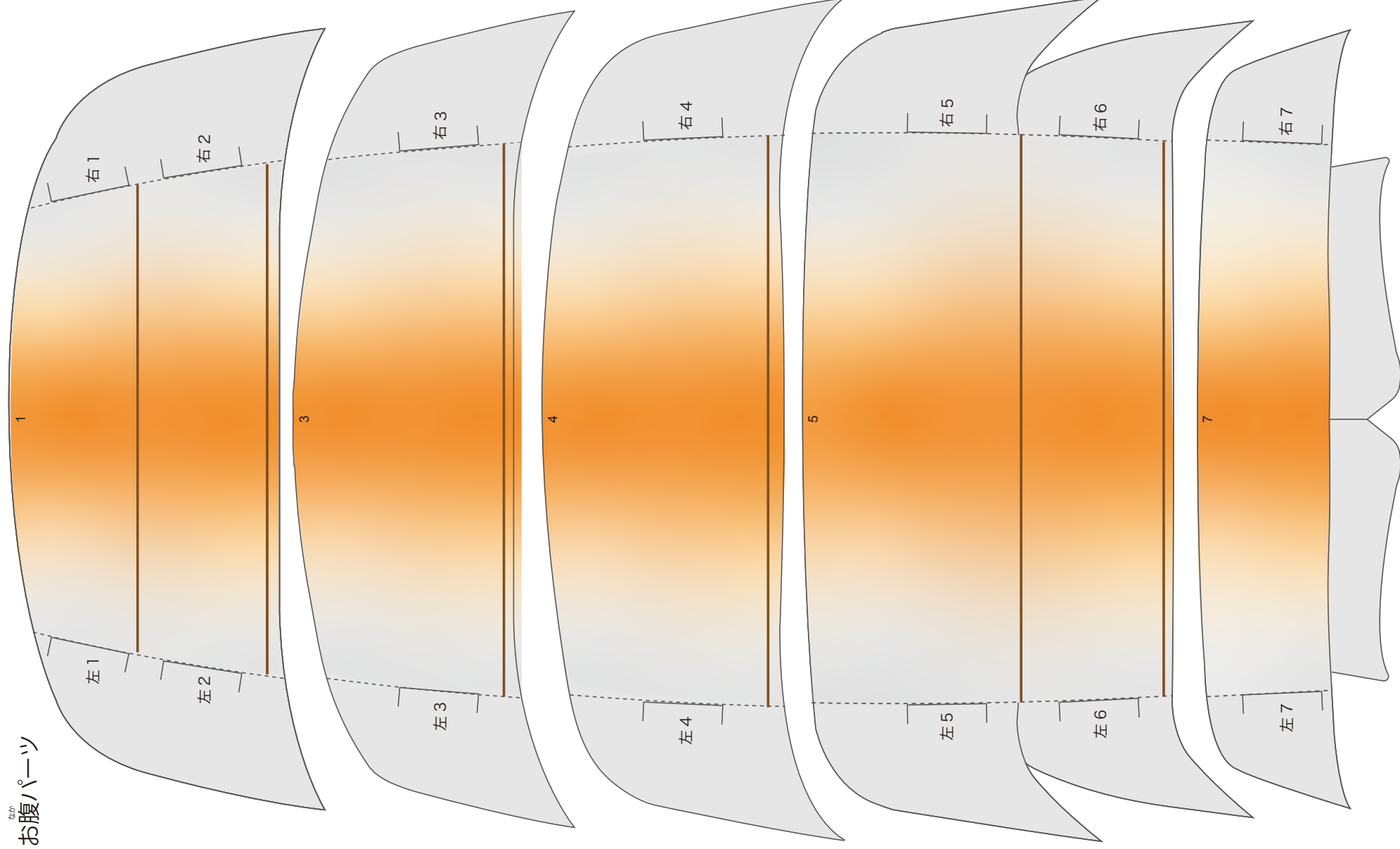
【型紙 3】^{せなか}背中パーツ



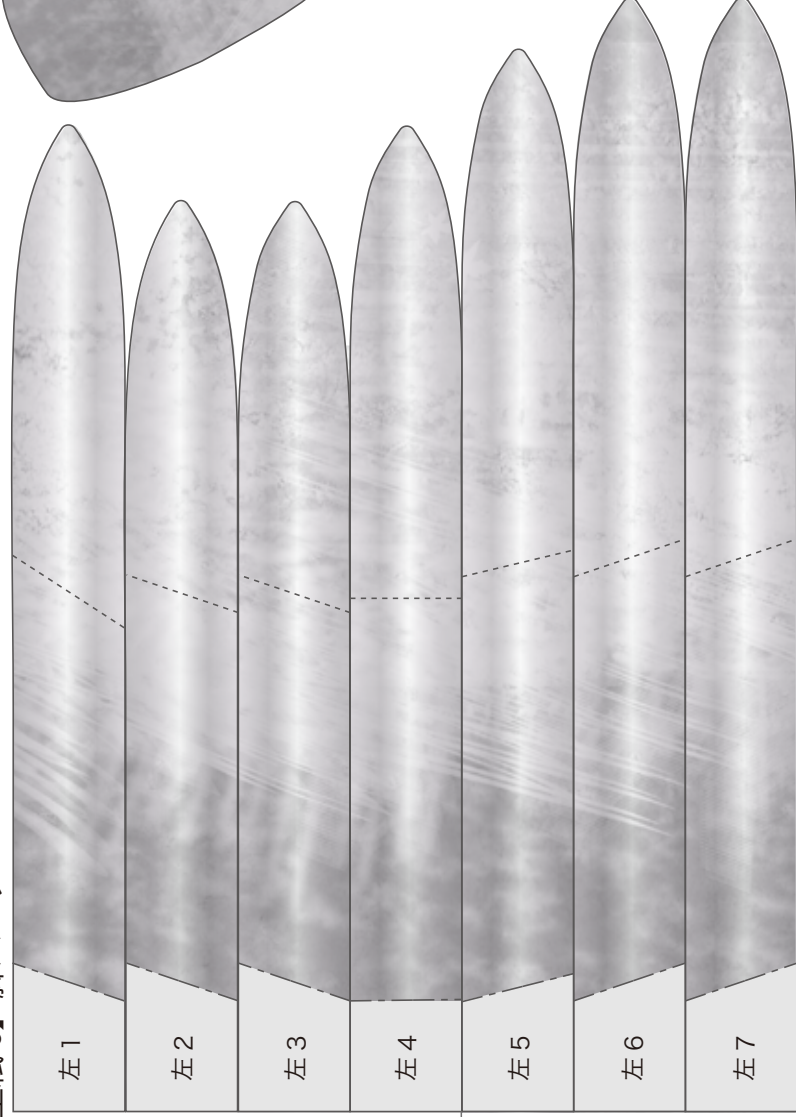
【型紙 4】 頭パーツ



【型紙 5】お腹パーツ



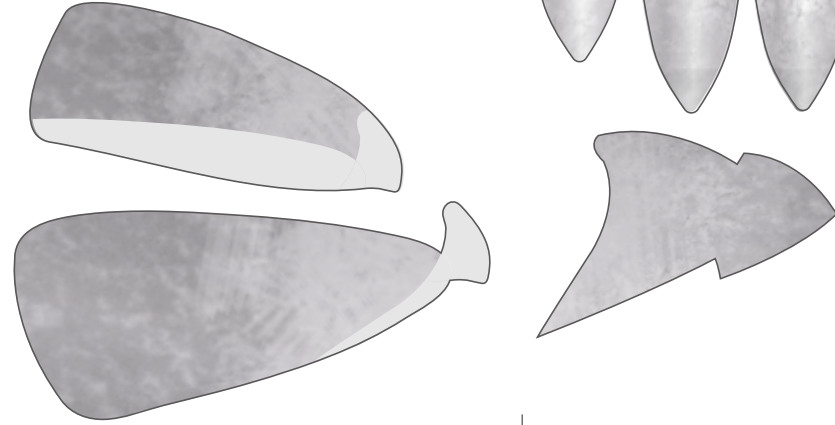
【型紙 6】^{あし}脚パーツ



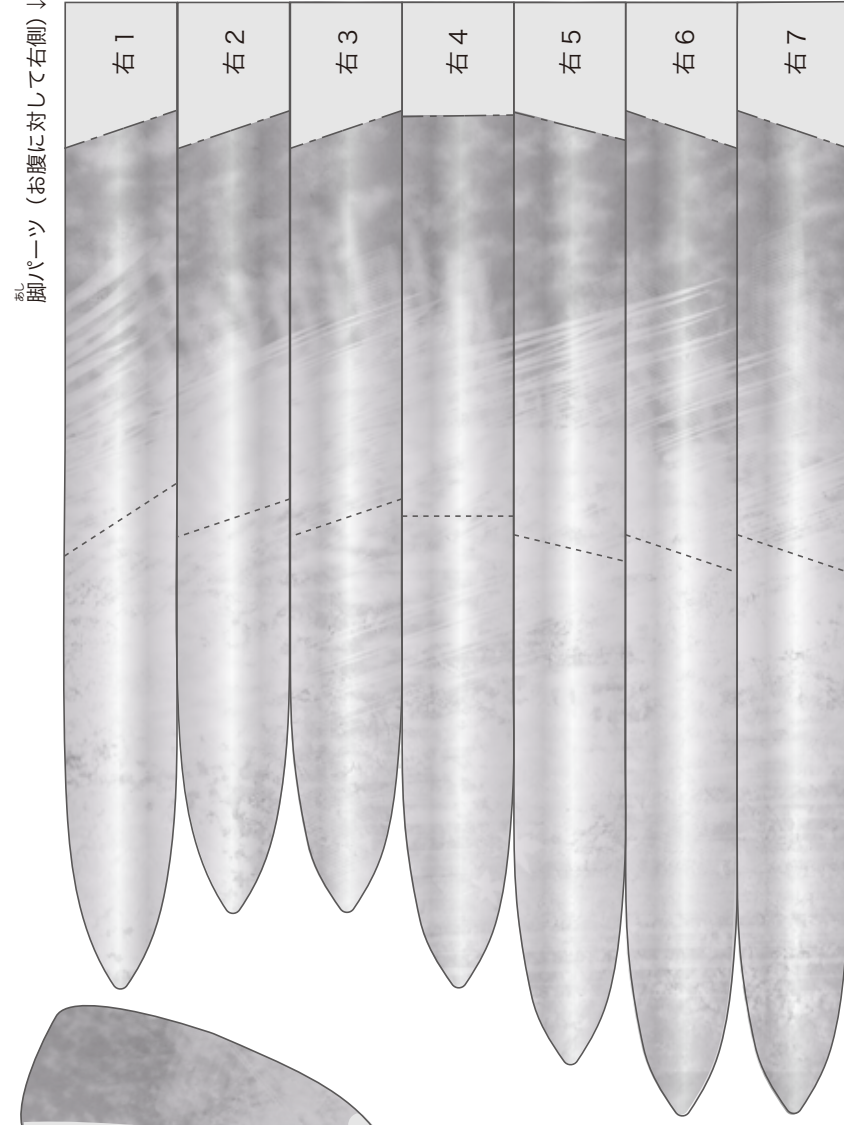
↑^{あし}脚パーツ (お腹に対して左側)



↑びしパーツ
(お腹に対して左側)

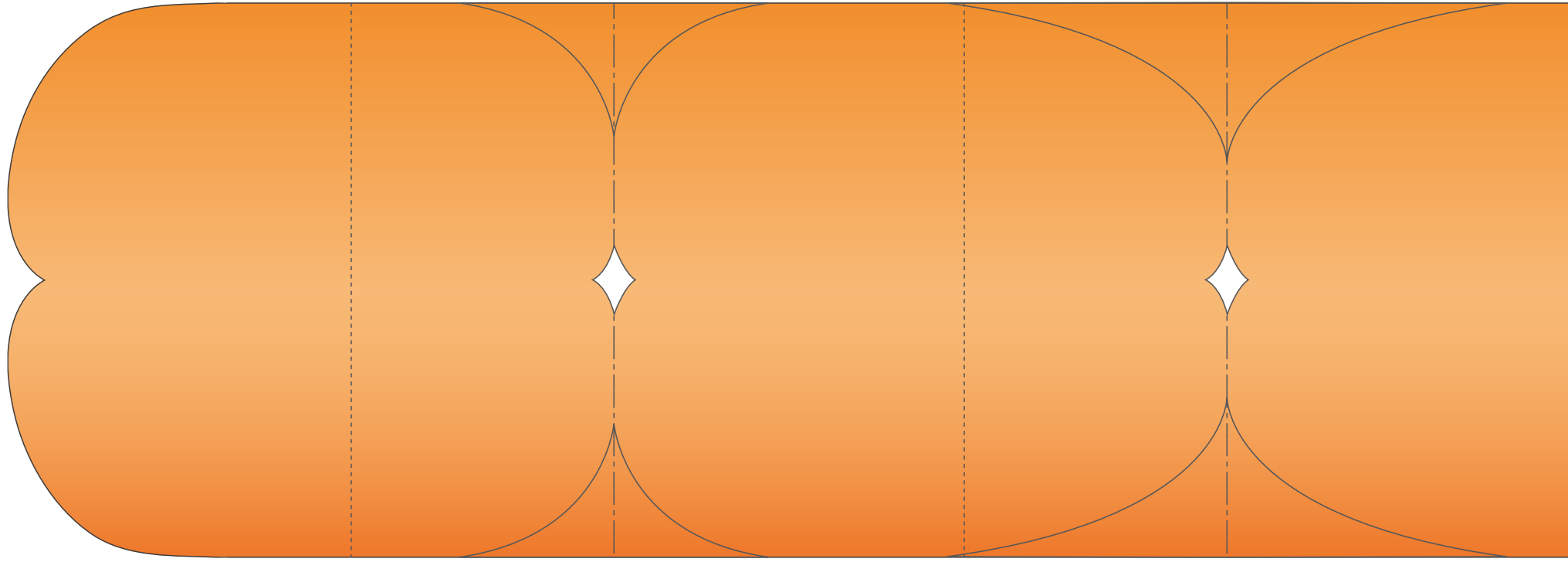
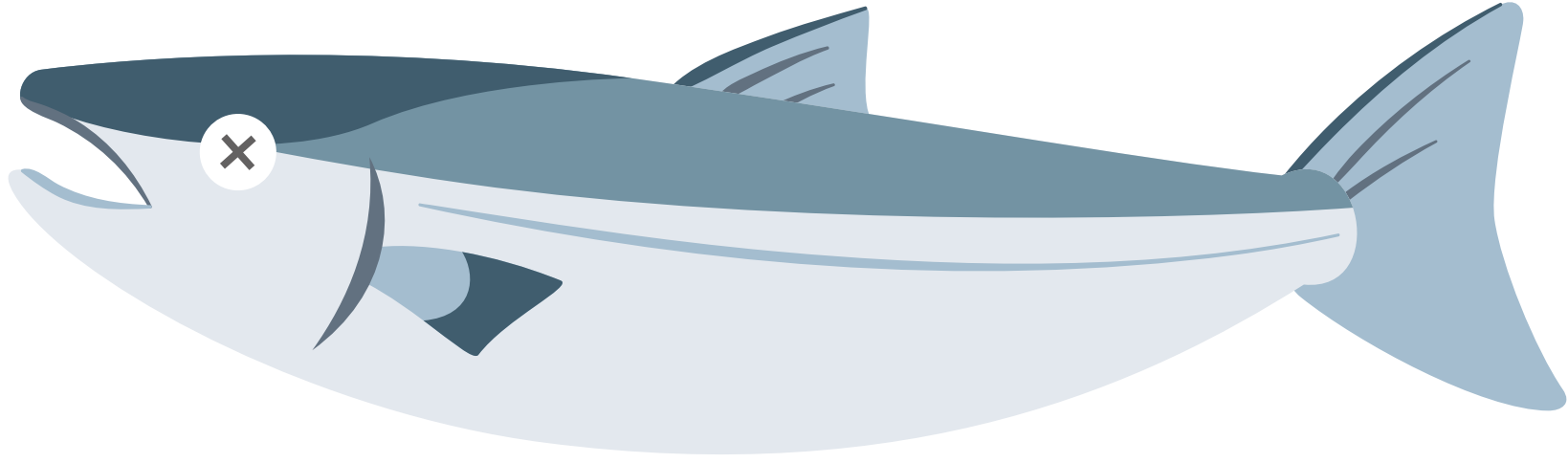


↑びしパーツ
(お腹に対して右側)



↑^{あし}脚パーツ (お腹に対して右側) ↓

【型紙7】ゆつえいせやく 遊泳脚パーツ・ごはんの魚



山折り / Mountain fold

切る / Cut



谷折り / Valley fold

のりしろ / Paste

